

2024年07月16日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【全く、何が起こるか分からない】

全く、何が起こるか分からない。

トランプ元大統領が狙撃された。

幸いに、トランプ元大統領は、怪我をしたものの、狙撃後に右手を大きく突き上げた姿、それも、米国国旗と共に撮られた写真が報道された。

力強いその姿は、大統領選挙で、トランプ氏に大きく寄与するのだろう。

当面のところでは、バイデン大統領は、老齢によるデメリットが目立ち、再選は難しいように映る。

文頭に述べた通りに、「全く、何が起こるか分からない」のだから、民主党が、バイデン大統領を切り捨てて、トランプ元大統領に対抗し得る新しい候補者を立てる可能性も視野に入る。

その場合は、バイデン現大統領自らの決断が必要なので、予断は許さないのだが・・・。

このままでは、世論はトランプ元大統領の勝利に傾くことになる、と考えます。

++++  
++++

ところで、毎年の「夏休み相場」は、米国独立記念日(7月4日)から始まる、と考えます。

日本人の感覚から言えば、少々、気が早いのですが、マーケット(外国為替市場)の中心が、欧米であることを踏まえると、上記のように考えた方が無難です。

だから、すでに、「夏休み相場」に突入している、と考えます。

今年(2024年)は、パリ・オリンピックの開催もあるので、いつもよりも、「夏休み相場」の市場参加者は少なくなるのだろう、と考えます。

++++

これもまた、少々、気が早いのですが、「夏休み相場」の時期に、気になるのが「ジャクソンホール会議」。

「ジャクソンホール会議」とは、米国のカンザスシティー連邦準備銀行が、ワイオミング州のジャクソンホールで、毎年夏に開く金融・経済シンポジウムのこと。

過去の例では、2010年8月に、当時のバーナンキFRB議長が、量的金融緩和第2弾（QE2）に踏み切ることを示唆する講演を行い、金融市場に影響を与えた。

+++++

今年（2024年）の「ジャクソンホール会議」では、米国の今後の利下げに関して、何かしらの示唆があるのではないかと注目されるのは明らかでしょう。

今年（2024年）の「ジャクソンホール会議」は、8月22～24日に予定されています。

+++++  
+++++

（2024年07月16日東京時間14：15記述）